

麻酔科

臨床研修期間(2年間)	
病院名(59病院)	医療圏
横浜労災病院	横浜
昭和大学藤が丘病院	
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	
横浜旭中央総合病院	
菊名記念病院	
汐田総合病院	
昭和大学横浜市北部病院	
済生会横浜市東部病院	
済生会横浜市南部病院	
横浜南共済病院	
横浜栄共済病院	
横浜市立大学附属病院	
横浜市立みなと赤十字病院	
横浜市立大学附属市民総合医療センター	
横浜中央病院	
けいゆう病院	
横浜医療センター	
横浜市立市民病院	
国際親善総合病院	
戸塚共立第1病院	
東戸塚記念病院	
聖隷横浜病院	
帝京大学医学部附属溝口病院	川崎北部
聖マリアンナ医科大学病院	
川崎市立多摩病院	
新百合ヶ丘総合病院	
関東労災病院	川崎南部
川崎市立川崎病院	
医療法人社団こうかん会日本鋼管病院	
川崎協同病院	
川崎市立井田病院	
日本医科大学武蔵小杉病院	
川崎幸病院	相模原
相模原病院	
北里大学病院	
相模原協同病院	
横須賀市立うわまち病院	横須賀・三浦
横須賀共済病院	
横須賀市立市民病院	
湘南鎌倉総合病院	
大船中央病院	湘南東部
藤沢市民病院	
湘南藤沢徳洲会病院	
藤沢湘南台病院	
湘南東部総合病院	湘南西部
茅ヶ崎市立病院	
平塚市民病院	
平塚共済病院	
東海大学医学部付属病院	県央
伊勢原協同病院	
秦野赤十字病院	
大和市立病院	
海老名総合病院	県西
厚木市立病院	
東名厚木病院	
湘南厚木病院	
小田原市立病院	
山近記念総合病院	
神奈川県立足柄上病院	

専門医研修期間(標準3年間)						
基幹施設名(15病院)	2次医療圏	地域群	基幹・連携施設名	2次医療圏	地域群	
北里大学病院	相模原	B	相模原協同病院	相模原	B	
			相模野病院	相模原	B	
			相模原病院	相模原	B	
湘南鎌倉総合病院	横須賀・三浦	B	関東労災病院	川崎南部	C	
			葉山ハートセンター	横須賀・三浦	B	
			湘南鎌倉人工関節センター	横須賀・三浦	B	
			湘南藤沢徳洲会病院	湘南東部	B	
			神奈川県立がんセンター	横浜	C	
			国際親善総合病院	横浜	C	
湘南藤沢徳洲会病院	湘南東部	B	昭和大学横浜市北部病院	横浜	C	
			横浜医療センター	横浜	C	
			葉山ハートセンター	横須賀・三浦	B	
			湘南鎌倉総合病院	横須賀・三浦	B	
			東名厚木病院	県央	B	
			昭和大学横浜市北部病院	横浜	C	
東海大学医学部付属病院	湘南西部	B	帝京大学医学部附属溝口病院	川崎北部	C	
			東海大学医学部付属病院	湘南西部	B	
			済生会横浜市東部病院	横浜	C	
			川崎市立川崎病院	川崎南部	C	
海老名総合病院	県央	B	川崎幸病院	川崎南部	C	
			横浜旭中央総合病院	横浜	C	
			帝京大学医学部附属溝口病院	川崎北部	C	
			日本医科大学武蔵小杉病院	川崎南部	C	
昭和大学横浜市北部病院	横浜	C	湘南鎌倉総合病院	横須賀・三浦	B	
			湘南藤沢徳洲会病院	湘南東部	B	
			昭和大学藤が丘病院	横浜	C	
済生会横浜市東部病院	横浜	C	東海大学医学部付属病院	湘南西部	B	
			聖マリアンナ医科大学病院	川崎北部	C	
			新百合ヶ丘総合病院	川崎北部	C	
			川崎市立川崎病院	川崎南部	C	
			日本鋼管病院	川崎南部	C	
			川崎幸病院	川崎南部	C	
			川崎市立井田病院	川崎南部	C	
			湘南厚木病院	県央	B	
			海老名総合病院	県央	B	
			神奈川県立こども医療センター	横浜	C	
東戸塚記念病院	横浜	C				
横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	C	日本医科大学武蔵小杉病院	川崎南部	C	
			神奈川県立足柄上病院	県西	A	
			横須賀共済病院	横須賀・三浦	B	
			横須賀市立市民病院	横須賀・三浦	B	
			藤沢湘南台病院	湘南東部	B	
			藤沢市民病院	湘南東部	B	
			茅ヶ崎市立病院	湘南東部	B	
			平塚共済病院	湘南西部	B	
			大和市立病院	県央	B	
			大和成和病院	県央	B	
横浜市立大学附属病院	横浜	C	神奈川県立こども医療センター	横浜	C	
			聖隷横浜病院	横浜	C	
			横浜南共済病院	横浜	C	
			横浜労災病院	横浜	C	
			横浜市立大学附属病院	横浜	C	
			横浜共済病院	横浜	C	
			済生会横浜市東部病院	横浜	C	
			神奈川県立がんセンター	横浜	C	
			横浜市立市民病院	横浜	C	
			横浜市立脳卒中・神経脊髄センター	横浜	C	
帝京大学医学部附属溝口病院	川崎北部	C	横浜医療センター	横浜	C	
			川崎幸病院	川崎南部	C	
			神奈川県立足柄上病院	県西	A	
			横須賀共済病院	横須賀・三浦	B	
			横須賀市立市民病院	横須賀・三浦	B	
			藤沢湘南台病院	湘南東部	B	
			藤沢市民病院	湘南東部	B	
			茅ヶ崎市立病院	湘南東部	B	
			平塚共済病院	湘南西部	B	
			大和市立病院	県央	B	
聖マリアンナ医科大学病院	川崎北部	C	大和成和病院	県央	B	
			横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	C	
			神奈川県立こども医療センター	横浜	C	
			聖隷横浜病院	横浜	C	
新百合ヶ丘総合病院	川崎北部	C	横浜南共済病院	横浜	C	
			横浜労災病院	横浜	C	
			済生会横浜市東部病院	横浜	C	
			神奈川県立こども医療センター	横浜	C	
川崎市立川崎病院	川崎南部	C	横浜市立市民病院	横浜	C	
			横浜市立脳卒中・神経脊髄センター	横浜	C	
			日本鋼管病院	川崎南部	C	
			東海大学医学部付属病院	湘南西部	B	
済生会横浜市東部病院	横浜	C	済生会横浜市東部病院	横浜	C	
			神奈川県立こども医療センター	横浜	C	
			帝京大学医学部附属溝口病院	川崎北部	C	
			川崎市立川崎病院	川崎南部	C	

専門医研修期間(標準3年間)					
基幹施設名(15病院)	2次医療圏	地域群	基幹・連携施設名	2次医療圏	地域群
			日本鋼管病院	川崎南部	C
			川崎幸病院	川崎南部	C
			川崎市立井田病院	川崎南部	C
日本医科大学武蔵小杉病院	川崎南部	C	海老名総合病院	県央	B
			神奈川県立こども医療センター	横浜	C
			東戸塚記念病院	横浜	C
			横浜旭中央総合病院	横浜	C

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)					
医療圏2	地域群	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
県西	A	神奈川県立足柄上病院	296	県西医療圏は県内でもより早期に高齢化・人口減少が起きているが、医療需要は幅広くあり、特に救急医療の維持には人員が必要であるため。	generalな力を持った総合診療の良い指導医がおり、横浜市大との連携で責務年限終了後に関してもキャリア継続が可能。新型コロナウイルス対策では、県の重点医療機関として流行の初期より患者を受け入れるなど、県の医療体制維持に貢献している。
相模原	B	JA神奈川県厚生連 相模原協同病院	400	・救急車受入年間8000件以上、地域医療支援病院の指定も受けており、紹介患者の受入も積極的に行っております。そのため、手術件数が多い一方で麻酔科医の人員は十全ではなく、受入を希望します。 ・相模原市内には内科二次・外科二次に対応できる病院が少なく、当院で一括した受入を可能にするため、総合内科・救急科にて対応をとっておりますが総合内科医師の人員が充たできていないため、受入を希望します。	研修プログラムについて、適宜見直しを行いながら充実を図っている。また、指導面については、病院全体協力して行うこととしており、特に該当科の指導医については、十分な指導を行うよう院長より通達をしている。
相模原	B	独立行政法人 国立病院機構 相模原病院	458	当院の目標の一つは『救急患者の要請は受け入れていくことを原則とし、断らない医療を目指し地域医療に貢献していく』であり、救急医療を中心に地域に根差した医療を行っている当院と地域枠の目的である地域医療に貢献する医師の育成に合致しているため受け入れを希望した。	【麻酔科】麻酔管理症例が年間2600件前後と症例豊富です。当院の特徴として、リウマチ疾患合併症例が多く気道確保困難症例が多いこと、腹腔鏡下、ロボット支援手術等の低侵襲手術が多いこと、整形外科では神経ブロック併用の麻酔管理が多いことが挙げられます。現在は3人の麻酔科専門医(うち2人は麻酔科指導医)が指導に当たっており、手技や循環・呼吸管理を多く経験できます。麻酔科で緩和ケア部門も担当しているため、緩和ケアについての知識を習得することも可能です。
横須賀・三浦	B	横須賀市立市民病院	482	各診療科の医師数は十分とは言えず、診療科によっては入院制限や緊急時の手術制限をする場合もある。二次保健医療圏の医師数の状況を踏まえても、更なる医師の確保が必要である。	派遣された医師が、臨床・研究・教育の能力を発揮し、充実した診療ができ、地域医療に貢献できるよう配慮していきます。
横須賀・三浦	B	公益社団法人地域医療振興協会 横須賀市立うわまち病院	417	症例が豊富であり、指導医も多数在籍していることから、地域枠医師の修練に適切であるため、受け入れを希望いたします。	三浦半島80万人医療圏の中の中核的な病院です。救急車台数も年間約6000台であり、2次、3次に特化した総合病院であるため、症例が豊富であり、それを支える指導医も豊富です。派遣された医師が臨床・研究・教育の能力を発揮し、充実した仕事ができ、社会に役立てるように配慮していきます。
横須賀・三浦	B	医療法人横浜柏堤病院 よこすか浦賀病院	99	—	—
横須賀・三浦	B	医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院	669	神奈川県での医療を継続して担う人材を確保・育成したい為。	超急性期病院として24時間、365日すべての救急車収容要請を受け入れるを実践しており、豊富な臨床経験を積むことが出来ます。現在当院では、がん診療はもとより、世界的に新しいカテーテル、ロボット手術、心臓手術、内視鏡的外科手術、トモセラピー・陽子線といった高精度放射線治療、さらには臓器移植、再生医療など次世代の新しい治療を提供できる病院として運営しております。
湘南東部	B	一般財団法人同友会 藤沢湘南台病院	330	地域医療へ質の高い医療の提供を継続して行い、若手医師を育成して神奈川県を安心安全に貢献する為。	手技検査など指導のもと、専攻医には主治医として多くの経験と治療計画の決定をして頂きます。コンサルタントがしやすい環境でありますので、医師、看護師、医療技術者との連携がスムーズに行えます。
湘南東部	B	湘南東部総合病院	348	湘南東部医療圏に限定せず、今後高齢化率の高い県内のいずれの医療機関でも不安なく診療にあたる実力を医師として獲得できるように体制を整え、希望者をSubspecialty領域専門医の研修や高度・先進的医療、大学院などでの研究を開始する準備の経験が出来ることで、地域医療に貢献を果たします。	当院は神奈川県湘南東部医療圏の中心的な急性期病院であるとともに、地域の病診、病病連携の中核であります。一方で地域に根差す第一線の病院でもあり、コンディジーズの経験はもちろん、超高齢化社会を反映し、複数の病態を持った患者の診療経験もでき、高次病院や地域病院との病病連携や診療所(在宅訪問診療施設などを含む)との病診連携も経験できます。
湘南東部	B	医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院	419	神奈川県湘南東部地域の地域医療を支える当院救急や感染症チーム、およびそのバックアップとしての臨床はもちろん、県下の臨床教育に意欲のある若手医師の採用を積極的に行いたい。層の厚い当院の屋根瓦式教育は、次世代の地域医療を担っていく若手～中堅医師のニーズに沿った良質な研修/指導環境が提供できていると自負している。	当院では日常遭遇する疾病と障害等に対して適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するとともに、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看とりなど保健・医療・介護・福祉活動に取り組み絶えざる自己研鑽を重ねながら、地域で生活する医師を生活する人々の命と健康に関わる幅広い問題について適切に対応する医師を育成します。また辻堂駅すぐの立地で、敷地内には職員専用の保育園があります。
湘南東部	B	茅ヶ崎市立病院	401	—	—
湘南西部	B	東海大学医学部付属病院	804	本院が属する神奈川県西部地域は県内でも相対的に医師不足地域であり、将来に渡り、地域医療に貢献する医師の育成と確保を図るため。	特定機能病院として高度医療を提供すると共に、神奈川県ドクターヘリを運用する高度救命救急センターを併設しています。また、総合周産期母子医療センターや造血幹細胞移植地域拠点病院、地域がん診療連携拠点病院として、専門的治療を行っています。
湘南西部	B	平塚市民病院	416	当院の救急車搬送患者数は10,322人(令和5年度)であり、全国的に見ても上位に入る多きであるが、一部の診療科では医師不足の状況が深刻化しており、「地域医療支援病院」として地域のニーズに応える医療を展開する中で、今後も引き続き安定して患者を受け入れるために、ぜひ医師の派遣を要望します。	当院は29診療科のもと、各科症例数も多いので、さまざまなスキルを積むことができ、幅広い科目で専門医の資格を取得することもできます。湘南地域で地域密着型の医療を提供する自治体病院の一員として、共に活躍していただける先生をお待ちしています。
湘南西部	B	国家公務員共済組合連合会 平塚共済病院	416	当該診療科において医師が不足しているため受入を希望する。	—

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)					
医療圏2	地域群	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
湘南西部	B	秦野赤十字病院	320	定員医師数が不足し受入れを希望します。	日本赤十字社の使命の一つである災害医療は、今後も予期せぬ災害において被災地での迅速な活動と当病院の地域で災害が生じた際には当院が災害拠点病院として医療活動が行えるよう準備を行っております。通常の診療では2023年血管造影室が1部屋増設され、脳神経外科や循環器内科などでの血管治療がより遅滞なく可能となりました。当院泌尿器科および外科で2024年に手術を支援するロボットを用いた手術を行い、今後も安全で高度な医療を行う所存です。その他消化器内科、脳神経内科、腎臓内科、整形外科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、麻酔科、救急科、放射線科は常勤の専門医が診療いたします。代謝内分内分泌科、産婦人科、心臓血管外科医、形成外科、呼吸器内科は外来のみの診療ですが、当院は2023年地域医療支援病院に認定され、今後も引き続き秦野近隣の様々な医療機関と連携して地域医療を支える病院として診療を行います。各診療科の概要・特徴につきましては、当院ホームページをご覧くださいませようお願いいたします。
湘南西部	B	伊勢原協同病院	350	—	三次救急の大学病院が近くにあり、当院では各医師の専門性を重んじつつも良好なチーム医療により総合的な力を発揮し、二次医療を行っております。ほぼすべての診療科に指導医がおります。
県央	B	厚木市立病院	347	麻酔科:医師1人あたりの手術件数が多くなっており、医師の負担軽減を図るため。	当院は県央地区の公立の基幹病院として、地域の医療機関との連携を推進するとともに、急性期を中心とした二次医療の提供や、専門性に基づく高度医療の強化に努めています。(地域医療支援病院、感染症指定医療機関、県災害拠点病院、難病医療支援病院、エイズ治療拠点病院、がん診療連携指定病院)
横浜	C	独立行政法人労働者健康安全機構 横浜労災病院	650	医師数が欠員となっている診療科があるとともに、患者数の増加に診療が追いつかなくなっているため。	多くの診療科が整備されており、研修医プログラムも充実している。診療科間の研修医交流が可能。
横浜	C	昭和大学藤が丘病院	584	当院は1975年の開院から40年以上が経過し、耐震化や医療の高度化に向けて再整備計画をすすめています。再整備にあたっては、2018年10月に昭和大学、横浜市、東急電鉄の三者で「藤が丘駅周辺の新たなまちづくりの推進に関する協定」を締結し、駅前施設・公園・病院が一体となったまちづくりに取り組むことになりました。そのような状況下で今後ますます当院に対する期待が高まることが予想され、その期待に応えるためにもより多くの優れた医師を養成したいと考えているからです。	当院は大学附属病院としての高度な医療水準を保ちつつ、急性期医療から難病、リハビリテーションまで様々な疾患を多数診療しています。そのため多彩な症例を数多く経験することができ、大学病院でありながらも各診療科間・各部門間の垣根が低く、コミュニケーションがとりやすい環境の中で患者さん中心のチーム医療を実践しています。
横浜	C	済生会横浜市東部病院	562	—	—
横浜	C	横浜国立大学附属市民総合医療センター	726	—	—
横浜	C	横浜市立市民病院	650	2020年5月に新病院が開院するにあたり、多くの診療科で医師の増員を希望しています。また、地域枠の先生は定着率が高いと伺っており当院で意欲的に勤務していただけることを期待しています。	当院は横浜市の基幹施設として急性期医療に積極的に取り組むとともに、救命救急センター、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、第一種感染症指定医療機関、国の地域周産期母子医療センター、そして2019年4月からはがんゲノム医療連携病院に指定されているなど、日常よく遭遇するcommon diseaseから高度な医療を必要とする重症患者や難治性疾患まで十分な経験を積むことができます。また各分野の専門医にコンサルテーションができ、直接の指導を受けることが出来ます。2020年5月には新病院が開院しますので、やる気のある先生方をお待ちしています。ぜひ一緒に新病院で頑張らしましょう。
横浜	C	医療法人社団 明芳会 横浜旭中央総合病院	515	当院は、内科および麻酔科の専門研修プログラムの基幹施設として認定されております。現在神奈川県地域枠の研修医1名より当院での専門研修を検討しているとお話を頂いており、その他の地域枠医師も含め積極的に受け入れを行いたく希望させていただきます。	病床数515床・標榜科30科で構成され、2次救急指定病院として年間平均10000台の救急車を受け入れております。豊富な症例・手技を経験でき、急性期・回復期・慢性期を備え一貫した医療を学べます。
横浜	C	社会福祉法人 親善福祉協会 国際親善総合病院	287	外科、内科、泌尿器科、整形外科、眼科には既に大学人事での専攻医が所属し、他の診療科にも指導体制が整備されているが、いずれの診療科も医師不足である。	横浜市2次救急拠点病院Aとして年間5,000件以上の救急搬送を受け入れ、地域の中核病院として多くのcommon diseaseに対応している。産科では無痛分娩を積極的に行ない、分娩数の約半数を占めている。緩和ケア病棟を備え、診断から緩和までシームレスながん医療を展開している。泌尿器科、外科、婦人科ではロボット支援手術を積極的にこなしている。
横浜	C	神奈川県立がんセンター	415	—	—
横浜	C	公立大学法人 横浜市立大学附属病院	674	—	女性医師支援をはじめ、働きやすい環境づくりのための各診療科会議の運用や各種制度の周知などを行っています。
横浜	C	独立行政法人地域医療機能推進機構 横浜中央病院	250	独立行政法人地域医療機能推進機構の病院として地域に従事する医師を育成するとともに地域住民の診療を支える使命がある。また、特に腎臓内科医、糖尿病内科医、消化器・肝臓内科医、麻酔科医、外科医については深刻な人員不足である。	当院に所属する各学会の指導医・専門医のもとで地域医療における多岐にわたる症例を経験することが出来る。特に内科は各内科系診療科を複数有し、より専門性の高い診療を実現することが出来る。外科においては手術・手技・周術期管理を学ぶことが出来、化学療法、栄養管理、緩和ケアの基本を学び、幅の広い診療を経験することが出来る。麻酔科においては神経ブロック力を入れており症例数も豊富であり、十分な経験を積むことができる。
横浜	C	横浜済生会病院	151	当院は、2024年に移転新築を計画しており、より一層地域社会の一員として地域の医療に責任を持つ医療機関としての役割を自覚し、今後さらなる医療提供体制の充実を目指している為、地域枠医師の受入れを積極的に行います。	当院は1896年(明治29年)創立の歴史のある病院です。元来は船員の方の為の病院でしたが、現在は地域の住民の皆様との医療の充実及び健康の増進に尽力し、社会福祉面でも貢献しています。これからの、地域包括ケアシステム(医療と介護の連携)に積極的に取り組んでいます。特に消化器内科・血液内科・呼吸器内科及び消化器外科志望の医師が最適である。
横浜	C	社会福祉法人 恩賜財団済生会支部 神奈川県済生会横浜市南部病院	500	当院は横浜市大関連施設であるため、専門研修ローテーションを含め、医師の赴任離任は大学人事に依り行われているためです。	当院は指導体制も含め各診療科は横浜市大各教室と連携を密にしております。このことからくに、指導医が複数の診療科ではサブスペシャリティの指導体制も充実しております。

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)					
医療圏2	地域群	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
川崎南部	C	医療法人社団和光会 総合川崎臨港病院	199	人材の確保 地域に根づいた診療を行う上で、実情を理解した医師を採用したい。	医師のQOLを優先しており、ご自身の希望に沿った勤務が可能となるよう条件提示しております。
川崎南部	C	日本鋼管病院	395	診療体制強化のため。 地域に根付いた、長く勤務いただける医師を確保するため。	当院は開設以来80数年間に渡り川崎市川崎区で地域に根ざした運営を続けている、急性期と地域包括ケア病棟からなる二次救急病院です。内科は後期研修プログラムを有し、専門医を目指す医師が切磋琢磨しています。